

1. 活動状況

団体名	社団法人北海道建築士会 桧山支部
対象事業	景観の保全・再生
事業名	歴史・追分街道景観形成基本構想策定事業
事業目的	桧山地方の歴史を活した国道景観の在り方について、調査・研究し、本年度は、江差町愛宕町から柏町区間をモデルに基本構想を策定する。
実施期間	平成 13 年 4 月 1 日～平成 13 年 11 月 30 日
実施活動内容	<p>地域に根ざした活動を通じて、桧山地域の特性と建築士としての職能を充分活用しながら、地域のまちづくりの担い手としてより一層の研鑽を深めることとし、桧山地方の歴史を活かした国道景観の在り方について、調査・研究し、本年度においては江差町愛宕町から柏町区間をモデルとして基本構想の策定に向け、現地徒歩調査を行い、桧山、江差らしい街並みの景観上の特性の把握と誘導標識等の在り方（現状景観の課題、形成要素）を調査・研究し、10月26日に開催した「歴史・追分街道を考えるシンポジウム」においては美術評論家の岩淵氏の講演「歴史・町並・景観」のあと、コーディネーターの濱田氏とパネリストの高月氏、林女史、青坂氏の3人でパネルディスカッションが行われ、最後に参加者との熱心な意見交換がなされた。</p> <p>策定委員会を通じて、現地調査、シンポジウム等を踏まえ桧山地方において広域（行政、民間団体含む連携）的な取り組みが図られ、良質な沿道景観形成の施策に反映出来る成果報告書とした。</p>
今後の課題 将来計画等	策定された報告書の施策への推進に向けて、建築士会としての取り組みと地域の人たちとの連携を深め、主体的な活動をめざし、桧山らしさの創出、更なる発展につなげる。